**座間市地域包括ケア会議及び在宅医療推進協議会活動報告書**

平成　２８　年　７　月　１６　日

|  |  |
| --- | --- |
| チーム名とメンバー | 【　イベント　】チーム西澤 昭人（座間市歯科医師会）、岡 豊香（座間市薬剤師会）、小島 真由美（ハートケアステーションコスモス訪問看護）、筒井 すみ子（ふれんどりぃ）、生野 啓子（グループホームイーケア座間）、藤川 純子（特別養護老人ホーム第二座間苑）、小澤 稔（老健さがみ） |
| 実施年月日・内容 | 在宅医療介護の普及啓発を目的とした「市民向け講演会」年１回●平成２６年１０月１１日（土）１８時４５分～２０時４５分テーマ「人間らしい最期の迎え方」講師　フリーライター　田中 奈保美 氏内容　終末期医療の現状と、終末期医療の方針の意思決定について●平成２７年１２月１２日（土）１８時４５分～２１時００分テーマ「認知症家族を支える地域包括システムと医療介護の連携」講師　北里大学精神神経科 大石 智医師、座間手をつなぐ介護者の会 代表 佐藤氏　内容　認知症介護、認知症治療の現状について「多職種連携研修会」（在宅医療介護連携の推進を目的とした多職種による研修会）年２回●平成２６年１１月２９日（土）内容　ワールドカフェスタイルによる事例検討会。（カフェブースあり）　講師　県社会福祉士会理事　石橋　正道 氏●平成２７年 ９月２６日（土）１８時４５分～２０時４５分テーマ「多職種連携 まずは接遇から～地域包括ケアを支える接遇のあり方～」内容　研修専門業者所属講師による講演●平成２８年３月１９日（土）１８時００分～２０時１５分テーマ「幸せな最期を迎えるために～看取りの現状、それぞれの立場から～」内容　市内の看取り実施事業所職員（会議委員が担当）による実践報告と、小グループでの看取りに関する情報交換。（カフェブースあり）●平成２８年７月１３日（水）１９時００分～２１時００分テーマ「情報共有から始まる新たな介護」内容　「座間市あんしんノート」の紹介と、小グループでの医療介護の情報連携に関する意見交換※会場は、いずれもサニープレイス座間３階多目的室Ａ・Ｂ |
| イベントの実施方法 | 1. テーマと日時の設定（委員）、会場確保（事務局）

日時は、各職種が集まり易い土曜日の夕方～夜間がよい。1. 講師の選定（委員）、講師依頼・講師との調整（委員・事務局）

講師謝礼は、市の予算から支出する。上限額あり。1. 当日の流れの検討（委員・事務局）
2. チラシ作成（委員・事務局）
3. 周知（事務局）

医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護事業所、厚木保健福祉事務所、庁内関係部署1. 申込受付・グループワークのグループ編成（事務局）
2. 当日配布資料の作成・印刷（事務局）
3. 当日の司会、受付、会場設営・片付けを分担して担う。（他チーム、参加者の協力あり）
4. アンケートの集計・報告（事務局）

※ イベント内容に関することは、チーム内で検討したのち親会議に諮り最終決定した。※ 必要時、子会議のほかに打ち合わせを実施することがあった。※ カフェブースを設置する場合は、事務局が三師会に依頼をし、費用協力をいただくことで実施していた。依頼先は、喫茶店「コーヒーノート」の大森氏。 |
| 今後の課題 | 市民向け講演会について* 参加する市民が少ない。

→市民の関心があるテーマの検討が必要。* 在宅医療を担う医療・介護人材の不足が各事業所の課題。在宅療養・医療介護連携を推進するには、人材が充足し安定した事業運営ができていることが大前提。

→医療・介護への良くないイメージを払拭するようなイベントの開催はどうか。　・小学生向けの在宅医療介護に関する講演会。（将来の人材育成に向けて）　・医療・介護事業所の取り組みの紹介と、求職説明会を同時に行うイベント。　・演劇形式で、わかりやすく。多職種連携研修会について* 研修に参加する事業所数が増えない。（同じ事業所が繰り返し参加している）
* 研修に参加した顔の見える関係はある程度構築できたのではないか。

→新規参加事業所を増やすための・顔の見える関係づくりからの発展を目指すための、新たな取り組みがあってもよいのではないか？・グループワークのグループを、同職種で分ける。（看護職、ＣＭ、介護職等）・若手職員限定・管理業務を担当する職員限定のイベント。・市の問題点の共有と、それについてのフリートーク委員の活動について* 年間を通してイベント準備をしている状況。開催回数、規模等の見直しも必要か？
* 委員と事務局の業務分担の見直し。
 |